

# VERITAS NetBackup™ DataCenter

---

## Installation Guide

Windows NT/2000 (日本語版)

2001年1月  
P/N 30-000081-011

VERITAS

## 免責事項

本書に記載されている情報は、予告なしに変更される場合があります。VERITAS Software Corporation は、本書に関して、商品性や特定目的に対する適合性の黙示保証などの一切の保証を行いません。VERITAS Software Corporation は、本書に含まれるエラーや本書の提供、遂行、または使用に伴う付随的または間接的な損害に対して一切の責任を負わないものとします。

## 著作権

Copyright © 2000 VERITAS Software Corporation. All rights reserved. VERITAS は、米国およびその他の国における VERITAS Software Corporation の登録商標です。VERITAS のロゴ、VERITASNetBackup、および VERITASNetBackup BusinessServer は、VERITAS Software Corporation の商標です。その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

本ソフトウェアの一部は、RSA Data Security, Inc. の MD5 Message-Digest Algorithm から派生したものです。Copyright 1991-92, RSA Data Security, Inc. Created 1991. All rights reserved.

Printed in the USA, January 2001.

VERITAS Software Corporation  
1600 Plymouth St.  
Mountain View, CA 94043  
電話 650-335-8000  
ファックス 650-335-8050  
www.veritas.com

# 目次

---

まえがき .....	v
表記規則 .....	v
一般の表記規則 .....	vi
「注」と「注意」の違い .....	vi
キーの組み合わせ .....	vi
コマンドの書式 .....	vi
テクニカル サポート .....	viii
<b>第 1 章：インストールと初期設定 .....</b>	<b>1</b>
Windows NT/2000 へのストレージデバイスの設定 .....	2
NetBackup DataCenter のインストール .....	2
インストールに際して必要な要件 .....	2
NetBackup DataCenter のインストール方法 .....	3
NetBackup の設定 .....	4
アップグレード インストールの実行 .....	5
インストールに際して必要な要件 .....	5
3.4 へのアップグレードに関する注意事項 .....	5
ソフトウェアをインストールするには .....	6
NetBackup BusinessServer 3.4 から NetBackupDataCenter 3.4 への アップグレード .....	6
NetBackup クライアントのインストール .....	6
Windows 95/98/2000/NT 4.0 .....	7
NetWare Target と NonTarget .....	7
Macintosh .....	8

---

OS/2 Warp .....	8
別の管理インタフェースのインストール .....	10
NetBackup 管理クライアント .....	10
NetBackup-Java Display Console for Windows .....	11
NetBackup のエージェントとオプションのインストール .....	12
<b>第 2 章 : NetBackup DataCenter とクライアントの</b>	
<b>アンインストール / 再インストール .....</b>	<b>13</b>
DataCenter のアンインストール方法 .....	13
DataCenter のアンインストールおよび再インストール方法 .....	14
NetBackup クライアントのアンインストール方法 .....	14
UNIX NetBackup クライアント ソフトウェアのアンインストール方法 .....	15
<b>付録 A : 関連マニュアル .....</b>	<b>17</b>
リリース ノート .....	17
入門ガイド .....	17
入門カード .....	17
インストール ガイド .....	18
システム管理者ガイド - 基本製品 .....	18
システム管理者ガイド - エージェントとオプション .....	18
ユーザー ガイド .....	23
デバイス設定ガイド - Media Manager .....	24
トラブルシューティング ガイド .....	24
<b>索引 .....</b>	<b>25</b>

## まえがき

---

本書では、NetBackupシステム管理者向けにNetBackup™ DataCenterのインストールについて説明します。NetBackupシステム管理者は、NetBackupを使用したバックアップおよびリストア計画の保守を担当します。

本書は、以下の事項を前提とします。

- ◆ Windows NT システム管理に関する基本的な知識を有していること。
- ◆ NetBackup DataCenterのインストール先のWindows NTシステムに関する経験を有していること。
- ◆ SCSIデバイスがオペレーティングシステムに正しく装着され、設定されていること。

---

**注意** デバイスがオペレーティングシステムに正しく設定されていない場合は、そのデバイスに対して行われたバックアップのリストアが困難になることがあります。

---

- ◆ 本書の構成
- ◆ 第1章「インストールと初期設定」では、ソフトウェアのインストール手順について説明します。
- ◆ 第2章「NetBackup DataCenterとクライアントのアンインストール/再インストール」では、NetBackupソフトウェアをアンインストールまたは再インストールする方法について説明します。
- ◆ 付録A「関連マニュアル」では、NetBackupのマニュアルについて説明します。

## 表記規則

本書で採用している一般的な表記規則について説明します。

## 表記規則

## 一般の表記規則

表 1. 一般の表記規則

表記	用途
英字等幅フォント太字	入力する文字。例： <b>cd</b> と入力して、ディレクトリを変更してください。
英字等幅フォント	パス、コマンド、ファイル名、および出力。例：デフォルトのインストールディレクトリは /opt/VRTSxx です。
『』	ドキュメントなどのタイトル。
「」	章や項目のタイトル、強調する用語。
英字ゴシック体 (斜体)	プレースホルダーテキストまたは変数。例： <i>filename</i> には、実際のファイル名を指定してください。
英字ゴシック体 (斜体以外)	フィールド名、メニュー項目など、グラフィカルユーザーインターフェース (GUI) のオブジェクト。例：[Password] フィールドに、パスワードを入力してください。

## 「注」と「注意」の違い

注	「注」はこのように表記され、製品をより簡単に使用するための情報や、問題を回避するための情報を取り上げます。
注意	「注意」はこのように表記され、データの損失につながる可能性がある状況を警告します。

## キーの組み合わせ

キー操作によるコマンドでは、同時に複数のキーを使用する場合があります。たとえば、**Ctrl** キーを押しながら、別のキーを押します。このようなコマンドは、プラス記号 (+) でつないで表記します。

例：Ctrl+T を押します。

## コマンドの書式

コマンドの書式では、以下の表記規則が一般的に使用されます。

角かっこ [ ]

コマンドライン内にある角かっこで囲まれたコンポーネントは、オプションのコンポーネントです。

垂直バーまたはパイプ (|)

## 表記規則

オプションの引数を区切ります。ユーザーは、これらのオプションの引数から必要な引数を選択できます。たとえば、コマンドの書式が次のとおりとします。

```
command arg1 | arg2
```

ユーザーは、*arg1* または *arg2* のいずれかの変数を使用できます。

## テクニカル サポート

---

### テクニカル サポート

この製品に関するシステム要件、サポートされているプラットフォーム、サポートされている周辺機器、テクニカル サポートから入手できる最新のパッチなどの最新情報については、弊社の Web サイトをご利用ください。

<http://www.veritas.com/jp> (日本語)

<http://www.veritas.com/> (英語)

製品に関するサポートは、**VERITAS** テクニカル サポートまでお問い合わせください。

電話 : (03)3509-9210

FAX : (03)5532-8209

**VERITAS** カスタマ サポートへのお問い合わせの際は、次の電子メール アドレスもご利用いただけます。

[support.jp-es@veritas.com](mailto:support.jp-es@veritas.com)



# インストールと初期設定

# 1

NetBackup DataCenter に用意されているウィザードを使用すると、ソフトウェアのインストールと設定を簡単に行うことができます。

この章では、NetBackup DataCenter のインストールと設定に関する以下の手順について説明します。

- ◆ Windows NT/2000 へのストレージ デバイスの設定
- ◆ NetBackup DataCenter のインストール
- ◆ NetBackup の設定
- ◆ アップグレード インストールの実行
- ◆ NetBackup BusinessServer 3.4 から NetBackupDataCenter 3.4 への アップグレード
- ◆ NetBackup クライアントのインストール
- ◆ 別の管理インタフェースのインストール (オプション)
- ◆ NetBackup のエージェントとオプションのインストール (オプション)

## Windows NT/2000 へのストレージ デバイスの設定

NetBackup DataCenter を利用する際、その信頼性はストレージデバイスが適切に設定されているかどうかに関わっています。信頼性の高いバックアップとリストアを確保するためには、デバイスのベンダやマイクロソフト社が提供する説明書に従って、Windows NT/2000 にデバイスを設定する必要があります。この設定は、DataCenter 自体を設定する前に行ってください。

**注意** デバイスが正しく設定されていない場合は、リストア時にデータが失われることがあります。

1. ストレージ デバイスのベンダとマイクロソフト社が指定するすべての設定手順を完了してください。
2. VERITAS Tape Installer アプリケーションを使用します。これにより、Windows NT/2000 がテープ デバイスを認識できるようになり、各デバイスのドライバがロードされます。

この時点で、NetBackup DataCenter をインストールできます。

## NetBackup DataCenter のインストール

### インストールに際して必要な要件

サーバーソフトウェアのインストールには約 10 分かかります（環境に合わせて製品を設定する場合は、さらに時間が必要です）。インストールの前に、以下の要件を確認します。

- ◆ Microsoft Windows NT Version 4.0 (Service Pack 4) または Windows 2000 で稼動し、最低 32MB のメモリを搭載した Intel Pentium システム。
- ◆ サーバーの管理者アカウントとパスワード。
- ◆ 十分な空きディスク領域。
  - ◆ Intelサーバーソフトウェアには、約78メガバイトが必要です。DEC Alphaサーバーソフトウェアには、約 100 メガバイトが必要です。
  - ◆ オンライン マニュアルをインストールする場合には、約 16 メガバイトが必要です。
  - ◆ NetBackupカタログにはバックアップに関する情報が含まれており、その大きさは製品を使用するにつれて増加します。カタログに必要なディスク領域は、主にバックアップするファイルの数、バックアップの頻度、およびバックアップ データを保持する期間によって異なります。VERITAS 社では約 250MB の領域を確保することを推奨しています。
- ◆ 周辺機器が製造元の指示通りに設置されており、Windows NT/2000 から認識されていること。

- ◆ コンピュータが互いに認識可能でかつ通信できるようにネットワークが設定されていること。通常 ping コマンドを利用してサーバーからクライアントへ到達できる場合、NetBackup の設定を行うことができます。
- ◆ NetBackup をインストールするパーティションが、長いファイル名が利用できること。

## NetBackup DataCenter のインストール方法

### インストールに関する注意事項

- ◆ NetBackup リモート メディア サーバーを追加しない場合は、リモート メディア サーバーに関連する記述はすべて無視してください。
- ◆ サーバーのインストール処理の際、サーバーシステムにはクライアント ソフトウェアもインストールされます。しかし、サーバー以外のシステムに対する PC クライアント ソフトウェアのインストールについては、これとは別に、NetBackup Installation Guide - PC Clients の記述に従って行います。

NetBackup アドオン製品 (NetBackup for Microsoft SQL Server など) をインストールする場合は、ソフトウェアに付属するインストールの説明書を参照してください。

1. NetBackup をインストールするサーバーに管理者としてログインします。
2. NetBackup CD-ROM をドライブに挿入します。
  - ◆ CD-ROMドライブの自動再生が有効になっているシステムの場合は、NetBackup インストールプログラムが自動的に起動します。
  - ◆ Windows NT4.0/2000 で稼働しているシステムで、自動再生が無効になっている場合は、CD-ROM の AutoRun ディレクトリにある AutoRunI.exe プログラムを実行します。
  - ◆ Digital Alphaプロセッサを搭載した Windows NT4.0/2000システムで、自動再生が無効になっている場合は、CD-ROM の AutoRun ディレクトリにある AutoRunA.exe プログラムを実行します。
3. [NetBackup - インストール] 画面で、[NetBackup Server for Microsoft Windows NT] の下にある [インストール I] オプションをクリックします。[ようこそ] ダイアログ ボックスが表示されます。
4. [次へ] をクリックし、セットアッププログラムのプロンプトに従います。

### インストール先のディレクトリ

必ず、NetBackup をインストールするパーティションには NetBackup ソフトウェアとデータベースのための十分な空き領域を確保してください。詳細については、2 ページの「インストールに際して必要な要件」を参照してください。

## NetBackup の設定

---

### NetBackup サービスとポート番号

VERITAS では、NetBackup のサービスとインターネット サービスポートにはデフォルトのポート設定を使用することをお勧めします。ポート番号を変更する場合は、互いに通信を行うすべての NetBackup システム（つまり、すべてのマスターサーバー、リモートメディアサーバー、およびクライアント）のポート番号も同様に変更する必要があります。ポート エントリは以下のファイルにあります。

```
%SYSTEMROOT%\system32\drivers\etc\services
```

デフォルトの設定を変更するには、[NetBackup インストール ディレクトリ] 画面のチェックボックスをクリアし、[次へ] をクリックして次に進みます。

### システム名

リモート メディア サーバーまたは NetBackup 管理クライアントをインストールする場合は、これらがマスターサーバーにアクセスできるようにマスターサーバーのサーバーリストにリモート メディア サーバーと管理クライアントのシステム名が記載されている必要があります。このリストの確認と変更については、『NetBackup DataCenter System Administrator's Guide - Windows NT Server』の付録 C を参照してください。

## NetBackup の設定

サーバー ソフトウェアのインストールとストレージ デバイスの設定が終了したら、以下の手順に従います。詳細については、『NetBackup Datacenter System Administrator's Guide - Windows NT/2000 Server』を参照してください。

1. 各サーバーで NetBackup を設定します。
2. ボリュームを設定します。
3. カタログ バックアップを設定します。
4. バックアップ ポリシーを作成します。

## アップグレード インストールの実行

### インストールに際して必要な要件

- ◆ すべてのNetBackupサーバーのリリースレベルが3.4以降でなければなりません。したがって、設定されているすべてのサーバーをこのレベルにアップグレードする必要があります。
- ◆ 3.4のNetBackupサーバーは3.3以降のすべてのクライアントをサポートします。通常、各サーバーにあるNetBackupのリリースレベルは、最低でもクライアントのリリースレベルと同等レベルでなければなりません。サーバーソフトウェアのバージョンがクライアントより古い場合は、問題が発生するおそれがあります。
- ◆ すべてのアドオン製品（NetBackup for Oracle など）が、NetBackup 3.4 との互換性があるレベルにアップグレードされていることを確認します。詳細については、アドオン製品に付属しているNetBackupのガイドを参照してください。

### 3.4 へのアップグレードに関する注意事項

**注意** マスターサーバーのNetBackupソフトウェアをアップグレードする前に、最新のNetBackupカタログのバックアップを取得しているかどうかを確認してください。

- ◆ NetBackupのインストールプログラムは、NetBackupの既存のインストールの検出を行い、必要に応じてNetBackupのアップグレードや再インストールを実行できるようにします。再インストールは、インストールが破損した場合に役立ちます。
- ◆ NetBackupの形式を変更する必要がある場合は、インストールの開始時に画面のオプションを選択して形式を変更します。

ただし、変更できない場合もあります（たとえば、マスターサーバーをリモートメディアサーバーに変更することはできません）。変更できない場合は、既存のNetBackupソフトウェアをアンインストールし、必要とされる形式を指定して新たにインストールします。

- ◆ すべてのNetBackupサーバーのリリースレベルが同じでなければなりません。以下の順序でアップグレードすることをお勧めします。
  - ◆ マスターサーバー
  - ◆ リモートメディアサーバー（存在する場合）
  - ◆ 管理クライアント（存在する場合）
  - ◆ クライアントは可能であれば是非アップグレードしてください。アップグレードしても、5ページの「インストールに際して必要な要件」に記述されているように、古いリリースレベルのNetBackupソフトウェアもサポートされます。

## NetBackup BusinessServer 3.4 から NetBackupDataCenter 3.4 へのアップグレード

### ソフトウェアをインストールするには

1. NetBackup をインストールするサーバーに管理者としてログインします。
2. NetBackup CD-ROM をドライブに挿入します。
  - ◆ CD-ROMドライブの自動再生が有効になっているシステムの場合は、NetBackupインストールプログラムが自動的に起動します。
  - ◆ Windows NT4.0/2000 で稼動しているシステムで、自動再生が無効になっている場合は、CD-ROM の AutoRun ディレクトリにある AutoRunI.exe プログラムを実行します。
  - ◆ Digital Alphaプロセッサを搭載した Windows NT4.0/2000システムで、自動再生が無効になっている場合は、CD-ROM の AutoRun ディレクトリにある AutoRunA.exe プログラムを実行します。
3. [NetBackup - インストール]画面で、[NetBackup Server for Microsoft Windows NT]の下にある [インストール] オプションをクリックします。[ようこそ]のダイアログボックスが表示されます。
4. [次へ]をクリックし、セットアッププログラムのプロンプトに従います。

## NetBackup BusinessServer 3.4 から NetBackupDataCenter 3.4 へのアップグレード

NetBackup BusinessServer から NetBackup DataCenter には、DataCenter のライセンス キーを追加するだけでアップグレードできます。

1. [NetBackup 管理]ウィンドウの[ヘルプ]メニューで、[ライセンス キー]をクリックします。
2. [新規] をクリックして表示される[新しいライセンスキーの追加]フィールドにライセンス キーを入力し、[追加] をクリックします。

ダイアログ ボックスの下部にあるペインに新しいライセンス キーが表示されます。

## NetBackup クライアントのインストール

定義により、NetBackup サーバーは NetBackup クライアントでもあります。NetBackup ソフトウェアをインストールすると、NetBackup サーバーと NetBackup クライアントの両方のソフトウェアがサーバー マシンにインストールされます。

以下に NetBackup クライアント ソフトウェアをインストールするための簡単な手順を示します。PC クライアントへのソフトウェアのインストールと設定の詳細については、『NetBackup Installation Guide - PC Clients』を参照してください。

## Windows 95/98/2000/NT 4.0

**注** Open Transaction manager (OTM) は、BusinessServer 向けの別ライセンスのオプション製品です。クライアントのサーバーが NetBackup BusinessServer である場合は、この機能のライセンス キーをサーバーに登録してこの機能を有効にする必要があります。

CD-ROM から PC\_ClnT¥Win32¥Setup.exe を実行します。

## NetWare Target と NonTarget

**注** Open Transaction manager (OTM) は、BusinessServer 向けの別ライセンスのオプション製品です。クライアントのサーバーが NetBackup BusinessServer である場合は、この機能のライセンス キーをサーバーに登録してこの機能を有効にする必要があります。

### OTM for NetWare のインストール

#### NetWare 3.x および 4.x :

1. OTMDSK.DSK をサーバーの DOS パーティションにコピーします。
2. サーバーの DOS パーティションにある STARTUP.NCF を変更して、ほかの .DSK ドライブがロードされる前に OTMDSK.DSK がロードされるようにします。
3. NetWare ファイル サーバーをリブートします。

#### NetWare 3.x、4.x、および 5.x :

CD-ROM の PC\_ClnT¥NetWare¥NLM ディレクトリから、OTMCDM.NLM、OTMLAPI.NLM、OTMLOAD.NLM、および PMTHREAD.NLM を NetWare ファイル サーバーにコピーします。

### NetBackup のインストール

**注** NetWare Directory Services (NDS) ファイルのバックアップとリストアを行うために tsands.nlm をインストールする必要があります。

バージョンに対応した NLM もインストールする必要があります。NLM は tsaxxx.nlm という形式を持ち、NetWare サーバーのリリース レベルに応じて Novell から提供されます。たとえば、Netware 5.0 サーバーに対応する NLM は、tsa500.nlm です。

## NetBackup クライアントのインストール

---

1. **CD-ROM** の `PC_ClnT¥NetWare¥NLM` ディレクトリから、`BP.NLM`、`BPSRV.NLM`、`BPSMS.HLP`、および`BPCD.NLM`をファイルサーバーの`SYS:system`ディレクトリにコピーします。
2. `SYS:` ボリュームに以下のディレクトリを作成します。
  - ◆ **NetWare Target** の場合
    - `Openv¥netback¥logs`
    - `Openv¥netback¥logs¥altpath`
    - `Openv¥netback¥logs¥bpback`
    - `Openv¥netback¥logs¥bprest`
    - `Openv¥netback¥logs¥bpcd` (オプション)
    - `Openv¥netback¥tgts`
  - ◆ **NetWare NonTarget** の場合
    - `Openv¥netback¥logs`
    - `Openv¥netback¥logs¥altpath`
    - `Openv¥netback¥logs¥bpsrv` (オプション)
    - `Openv¥netback¥logs¥bpcd` (オプション)
3. **NonTarget** クライアントの場合は、**CD-ROM** から `PC_ClnT¥NetWare¥Win32¥Setup.exe` ファイルを実行します。
4. ホストファイルを変更して、マスターサーバー、メディアサーバー、およびそれらの IP アドレスを記述しておきます。

## Macintosh

Macintosh のインストール手順については、『*NetBackup Installation Guide - PC Clients*』を参照してください。

## OS/2 Warp

1. `PC_ClnT¥OS2¥nbuos2.exe` を **OS/2 Warp** コンピュータの一時ディレクトリにコピーします。
2. 一時ディレクトリから `nbuos2.exe` を実行してインストールファイルを抽出します。
3. 一時ディレクトリから `install.exe` を実行して **NetBackup for OS/2** をインストールします。



## UNIX

1. NetBackup CD-ROM をクライアント コンピュータのドライブに挿入します。  
HP システムの場合 : NetBackup CD-ROM は Rockridge フォーマットであるため、以下のコマンドを入力してマウントする必要があります。

```
nohup pfs_mountd &  
nohup pfsd &  
pfs_mount -o xlat=unix /dev/dsk/device-ID /cdrom
```

*device\_ID* は、CD-ROM ドライブの ID です。

2. 作業ディレクトリを以下の CD-ROM ディレクトリに変更します。

```
cd cd_rom_directory
```

*cd\_rom\_directory* は、CD-ROM にアクセスできるディレクトリのパスです。プラットフォームによっては、ディレクトリをマウントする必要があります。

3. インストールプログラムを起動します。  

```
./install
```
4. オプション 2 の [NetBackup クライアント ソフトウェア] を選択します。
5. プロンプトに従ってインストールを完了させます。
6. HP システムのみ : CD-ROM をアンマウントするには、以下の手順に従います。

- ◆ `pfs_umount` コマンドを実行します。
- ◆ `kill` コマンドを使用して以下のプロセスを終了します。


```
pfs_mountd  
pfsd  
pfs_mountd.rpc  
pfsd.rpc
```

## 別の管理インタフェースのインストール

### NetBackup 管理クライアント

NetBackup 管理クライアントは、Windows NT/2000 用のバージョンの NetBackup クライアントです。これを使用すると、1 台以上の UNIX または Windows NT/2000 NetBackup DataCenter コンピュータをリモートから管理できます。Windows NT/2000 NetBackup クライアントから NetBackup DataCenter をリモートに管理する必要がない場合は、この節を飛ばしてもかまいません。

NetBackup 管理クライアントを使用する前に、管理クライアントを実行するホストを管理対象のリモート DataCenter コンピュータのサーバーリストに追加する必要があります。リストへの追加は、管理クライアントをインストールする前に行うことをお勧めします。

1. 管理クライアントのホストをリモート DataCenter コンピュータのサーバーリストに追加するには、以下の手順に従います。
  - a. リモート DataCenter コンピュータに移動します。
  - b. [NetBackup 管理] ウィンドウの [開始] メニューで、[NetBackup の設定] を選択します。
  - c. [設定 - NetBackup] ウィンドウの [設定グループ] ペインで DataCenter の名前をマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ (読み取り / 書き込み)] を選択します。
  - d. [マスターサーバーのプロパティ] ウィンドウで、[サーバー] タブをクリックします。
  - e. [グローバル操作] ボックスの [すべてのリストへ追加] フィールドに NetBackup 管理クライアントを実行するホスト名を入力します。  ボタンをクリックします。  
[その他のサーバー] リストにホスト名が表示されます。
  - f. [OK] をクリックします。
2. 管理クライアントのインストール先のコンピュータに移動します。
3. NetBackup サーバー ソフトウェアが入っている CD-ROM をドライブに挿入します。
  - ◆ CD-ROM ドライブの自動再生が有効になっている Windows NT 4.0/2000 システムの場合は、NetBackup インストール プログラムが自動的に起動します。
  - ◆ 自動再生が無効になっている Windows NT 4.0/2000 システムの場合は、CD-ROM の AutoRun ディレクトリにある AutoRunI.exe プログラムを実行します。
4. [NetBackup - インストール] 画面で、[NetBackup サーバー] の下にある [インストール] オプションをクリックします。

## 別の管理インタフェースのインストール

[ ようこそ ] 画面で [ 次へ ] をクリックすると、[ NetBackup サーバー セットアップ タイプ ] 画面に、[ マスター サーバー ] と [ 管理クライアント ] の2つのインストールオプションが表示されます。

5. [ 管理クライアント ] をクリックします。
6. プロンプトに従ってインストールを完了させます。

**注** [NetBackupシステム名]画面では、管理クライアントの名前が最初のエントリ フィールドに表示されます。リモート NetBackup DataCenter コンピュータの名前は、[ マスターサーバー ] フィールドに入力します。

ソフトウェアがインストールされる時、NetBackup のマニュアルも一式、次のディレクトリにインストールされます。

インストールパス¥Help

デフォルトでは、インストールパスは C:Program Files¥VERITAS になります。

デフォルトでは、インストールプログラムの [ 完了 ] をクリックすると、管理クライアントインタフェースが直ちに起動します。デフォルトの設定を選択しなかった場合は、管理クライアントコンピュータにある Windows の [ スタート ] メニューで、[ プログラム ]、[ VERITAS NetBackup ]、[ NetBackup 管理 ] を選択します。

## NetBackup-Java Display Console for Windows

NetBackup-Java Display Console を使用すると、Windows NT、2000、98、または 95 システム上で NetBackup Java (UNIX) インタフェースを実行し、UNIX NetBackup サーバーをリモートから管理できるようになります。Windows NT、2000、98、または 95 上で Java インタフェースを使用して UNIX NetBackup サーバーをリモートから管理する必要がない場合は、この節を飛ばしてもかまいません。

### システム要件

NetBackup-Java Display Console を実行するコンピュータの物理メモリ容量として 256MB を推奨しています。

### インストール手順

1. インストールを実行するシステムに、NetBackup サーバー ソフトウェアが入っている CD-ROM を挿入します。
  - ◆ CD-ROMドライブの自動再生が有効になっている Windows NT 4.0/2000 システムの場合は、NetBackup インストールプログラムが自動的に起動します。
  - ◆ 自動再生が無効になっている Windows NT 4.0/2000 システムの場合は、CD-ROM の AutoRun ディレクトリにある AutoRunI.exe プログラムを実行します。

## NetBackup のエージェントとオプションのインストール

---

2. [NetBackup - インストール] 画面で、[NetBackup - Java Display Console for MS] の下にある [インストール] オプションをクリックします。[よろこそ] ダイアログ ボックスが表示されます。
3. [次へ] をクリックし、プロンプトに従ってインストールを完了させます。
4. ソフトウェアをインストールしたら、ディスプレイ コンソールの使い方について、以下のドキュメントを参照してください (このドキュメントはソフトウェアとともにインストールされます)。

インストールパス ¥Java¥Readme.txt

デフォルトでは、インストールパスは C:¥Program Files¥VERITAS になります。

## NetBackup のエージェントとオプションのインストール

初期インストールが完了したら、製品に付属している NetBackup ガイドの説明に従って、NetBackup のほかのエージェントや別ライセンス製品 (NetBackup for Oracle など) をインストールできます。

## NetBackup DataCenter とクライアントの アンインストール/再インストール

## 2

この章では、NetBackup DataCenter ソフトウェアのアンインストールと再インストールについて説明します。

### DataCenter のアンインストール方法

**注** NetBackup-Java Display Console がインストールされたマシンから NetBackup をアンインストールする場合は、NetBackup をアンインストールすると Console も削除されます。マシン上で Console を継続して使用するには、Console を再インストールする必要があります。

**注意** この手順を実行すると NetBackup カタログが削除されます。再インストールを行う予定の場合は、この手順を実行する前にカタログをバックアップしてください (次の「DataCenter のアンインストールおよび再インストール方法」を参照)。

1. [スタート]メニューの[設定]をクリックし、次に[コントロールパネル]をクリックします。
2. [コントロールパネル]の[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。
3. [インストールと削除]プロパティシートから [VERITAS NetBackup] を削除します。

## DataCenter のアンインストールおよび再インストール方法

### DataCenter のアンインストールおよび再インストール方法

**注** NetBackup-Java Display Console がインストールされたマシンから NetBackup をアンインストールする場合は、NetBackup をアンインストールすると Console も削除されます。マシン上で Console を継続して使用するには、Console を再インストールする必要があります。

**注意** この手順を実行すると NetBackup カタログが削除されます。再インストールを行う予定の場合は、この手順を実行する前にカタログをバックアップしてください（次の「DataCenter のアンインストールおよび再インストール方法」を参照）。

1. カタログ バックアップを実行します。
2. [スタート]メニューの[設定]をクリックし、次に[コントロールパネル]をクリックします。
3. [コントロールパネル]の[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。
4. [インストールと削除]プロパティシートから [VERITAS NetBackup] を削除します。
5. NetBackup カタログの最新のバックアップから NetBackup カタログをリカバリします。  
カタログをリカバリするための再インストール手順の詳細については、『NetBackup Troubleshooting Guide - Windows NT/2000』の「Disaster Recovery」の章を参照してください。

### NetBackup クライアントのアンインストール方法

**注** NetBackup-Java Display Console がインストールされたマシンから NetBackup をアンインストールする場合は、NetBackup をアンインストールすると Console も削除されます。マシン上で Console を継続して使用するには、Console を再インストールする必要があります。

以下のプラットフォーム用の NetBackup クライアント ソフトウェアをアンインストールする手順については、『NetBackup Installation Guide - PC Clients』を参照してください。

- ◆ Windows 95/98、NT/2000
- ◆ Macintosh
- ◆ Novell NetWare
- ◆ OS/2

## UNIX NetBackup クライアント ソフトウェアのアンインストール方法

1. ルート ユーザーとしてクライアントにログインします。
2. /usr/opensv ディレクトリを削除します。  
/usr/opensv が実態のあるディレクトリの場合は、以下を実行します。

```
rm -rf /usr/opensv
```

  
/usr/opensv がリンクの場合は、以下を実行します。

```
cd /usr/opensv
rm -rf *
cd /
rm -f /usr/opensv
```
3. /etc/services ファイルの NetBackup エントリの削除を以下のようにして行います。
  - ◆ クライアントの /etc/services ファイルを編集します。
  - ◆ 次のような印に挟まれた行を削除します。

```
# NetBackup services#
.....
# End NetBackup services #

# Media Manager services #
.....
# End Media Manager services #
```
4. /etc/inetd.conf ファイルの NetBackup エントリを削除します。
  - ◆ クライアントの /etc/inetd.conf ファイルを編集します。
  - ◆ bpcd、vopied、および bpjava-msvc の各行を削除します。
5. 以下の2つのシェル コマンドを実行し、更新した inetd.conf ファイルを inetd に読みこませます。

```
inetd='/bin/ps -ea | grep inetd | grep -v grep | awk '{print $1}'
kill -1 $inetd
```

ps コマンドのオプションは、クライアントのプラットフォームによって異なります。
6. NetBackup の Java グラフィカル インタフェースを実行している Solaris と HP の NetBackup クライアントの場合は、以下を実行して NetBackup Java の状態データを削除します。

```
/bin/rm -rf /.nbjava
```

## NetBackup クライアントのアンインストール方法

---



## 関連マニュアル

## A

ここでは、NetBackup のテクニカル マニュアルについて説明します。

各 NetBackup 製品の CD-ROM には、関連マニュアルが Adobe Portable Document Format (PDF) 形式で含まれています。root ディレクトリ、もしくは CD-ROM の Docs ディレクトリを参照してください。

PDF 形式のマニュアルを参照するためには、Adobe Acrobat Reader が必要です。Adobe Acrobat Reader は、Adobe Web サイト ([www.adobe.com](http://www.adobe.com)) からダウンロードできます。ただし、VERITAS では、Acrobat Reader のインストールや使用に関して一切の責任を負いません。

### リリース ノート

#### 『NetBackup Release Notes - UNIX』

NetBackup ソフトウェアに関する重要な情報（サポートされているプラットフォームやオペレーティング システム、マニュアルやオンライン ヘルプにはない操作上の留意事項など）が掲載されています。

### 入門ガイド

#### 『NetBackup BusinessServer Getting Started Guide - Windows NT/2000』

Windows NT/2000 NetBackup BusinessServer ソフトウェアのインストールと実行方法が説明されています。

### 入門カード

- ◆ 『NetBackup FastBackup - Getting Started Card』

NetBackup FastBackup のインストール要件と手順が掲載されています。

- ◆ 『NetBackup BusinessServer Getting Started Card - Windows NT/2000』

Windows NT/2000 サーバの NetBackup BusinessServer のインストール要件と手順が掲載されています。

## インストールガイド

---

### インストールガイド

- ◆ 『NetBackup Installation Guide - PC Clients』  
NetBackup PC クライアント ソフトウェアをインストールする方法が説明されています。PC クライアントとは、Windows 2000、Windows NT、Windows 95、Windows 98、Macintosh、OS/2 Warp、および Novell NetWare です。
- ◆ 『NetBackup DataCenter Installation Guide - NT/2000』  
NetBackup DataCenter ソフトウェアをインストールする方法が説明されています。

### システム管理者ガイド - 基本製品

- ◆ 『NetBackup DataCenter System Administrator's Guide - Windows NT/2000 Server』  
Windows NT/2000 サーバシステムで NetBackup DataCenter の設定、管理の方法が説明されています。
- ◆ 『NetBackup BusinessServer System Administrator's Guide - Windows NT/2000』  
Windows NT/2000 サーバで NetBackup BusinessServer の設定、管理の方法が説明されています。
- ◆ 『NetBackup Media Manager System Administrator's Guide - Windows NT/2000』  
NetBackup を実行する Windows NT/2000 サーバでストレージ デバイスとストレージ メディアの設定、管理の方法が説明されています。Media Manager は、NetBackup の一部に含まれています。
- ◆ 『NetBackup BusinessServer Media Manager System Administrator's Guide - Windows NT/2000』  
NetBackup BusinessServer を実行する Windows NT/2000 サーバでストレージ デバイスとストレージ メディアの設定、管理の方法が説明されています。Media Manager は、NetBackup BusinessServer の一部に含まれています。

### システム管理者ガイド - エージェントとオプション

- ◆ 『NetBackup for DB2 on UNIX System Administrator's Guide』  
UNIX で NetBackup for DB2 のインストール、設定、使用方法が説明されています。  
この製品については、IBM の以下のマニュアルもご利用ください。  
『IBM DB2 Universal Database Extended Enterprise Edition for AIX Quick Beginnings for DB2 Extended Enterprise Edition』  
『API Ref IBM DB2 Universal Database API Reference Version 5』  
『Guide IBM DB2 Universal Database Administration Guide Version 5』  
『Cmd Ref IBM DB2 Universal Database Command Reference』

- ◆ 『NetBackup for DB2 on Windows NT System Administrator's Guide』

Windows NT で NetBackup for DB2 のインストール、設定、使用方法が説明されています。

この製品については、IBM の以下のマニュアルもご利用ください。

『IBM DB2 Universal Database Extended Enterprise Edition for AIX Quick Beginnings for DB2 Extended Enterprise Edition』

『API Ref IBM DB2 Universal Database API Reference Version 5』

『Guide IBM DB2 Universal Database Administration Guide Version 5』

『Cmd Ref IBM DB2 Universal Database Command Reference』
- ◆ 『NetBackup for EMC System Administrator's Guide』

NetBackup for EMC のインストール、設定、使用方法が説明されています。
- ◆ 『NetBackup Encryption System Administrator's Guide』

NetBackup 暗号化ソフトウェアのインストール、設定、使用方法が説明されています。NetBackup 暗号化ソフトウェアを使用すると、バックアップおよびアーカイブに対してファイルレベルの暗号化を実行できます。
- ◆ 『NetBackup FlashBackup System Administrator's Guide』

NetBackup FlashBackup のインストール、設定、使用方法が説明されています。FlashBackup 製品により、raw パーティションのバックアップのパフォーマンスが向上し、個別ファイル毎にリストアできるようになります。
- ◆ 『NetBackup for Informix System Administrator's Guide』

NetBackup for Informix のインストール、設定、使用方法が説明されています。NetBackup for Informix を使用すると、UNIX NetBackup クライアントにある Informix データベースのバックアップとリストアを実行できます。

この製品については、Informix Software Incorporated の以下のマニュアルもご利用ください。

『Informix-Online Dynamic Server Backup and Restore Guide』
- ◆ 『NetBackup for Lotus Notes on Windows NT System Administrator's Guide』

NetBackup for Lotus Notes のインストール、設定、使用方法が説明されています。NetBackup for Lotus Notes を使用すると、Lotus Notes のデータベースとトランザクションログのバックアップとリストアを実行できます。
- ◆ 『NetBackup for Lotus Notes on UNIX System Administrator's Guide』

NetBackup for Lotus Notes のインストール、設定、使用方法が説明されています。NetBackup for Lotus Notes を使用すると、Lotus Notes のデータベースとトランザクションログのバックアップとリストアを実行できます。

## システム管理者ガイド - エージェントとオプション

---

- ◆ 『NetBackup for Microsoft Exchange Server System Administrator's Guide』

NetBackup for Microsoft Exchange Server を設定し、使用方法が説明されています。NetBackup for Microsoft Exchange Server を使用すると、Microsoft Exchange Server のオンラインバックアップとオンラインリストアを実行できます。

Microsoft Corporation の以下のリソースもご利用ください。

Microsoft Exchange Server のホワイトペーパーと FAQ  
(<http://www.microsoft.com/exchange> で「Disaster Recovery」を検索)

『Microsoft Exchange Administrator's Guide』

『Microsoft Exchange Concepts and Planning Guide』

『Microsoft TechNet』

『Microsoft BackOffice Resource Kit』

<http://www.msexchange.org>
- ◆ 『NetBackup for Microsoft SQL Server System Administrator's Guide』

NetBackup for Microsoft SQL Server のインストール、設定、使用方法が説明されています。NetBackup for Microsoft SQL Server を使用すると、Microsoft SQL Server のデータベースとトランザクションログのバックアップとリストアを実行できます。

この製品については、Microsoft Corporation の以下のマニュアルもご利用ください。

『Administrator's Companion - Microsoft SQL Server』
- ◆ 『NetBackup for NCR Teradata System Administrator's Guide』

NetBackup for NCR Teradata のインストール、設定、使用方法が説明されています。NetBackup for NCR Teradata を使用すると、NCR Teradata のデータベースとトランザクションログのバックアップとリストアを実行できます。
- ◆ 『NetBackup for NDMP System Administrator's Guide』

NetBackup for NDMP のインストール、設定、使用方法が説明されています。NetBackup for NDMP を使用すると、NDMP ホストでバックアップを制御できます。
- ◆ 『NetBackup for Oracle on UNIX System Administrator's Guide』

NetBackup for Oracle のインストール、設定、使用方法が説明されています。NetBackup for Oracle を使用すると、UNIX NetBackup クライアントにある Oracle データベースのバックアップとリストアを実行できます。

この製品については、Oracle Corporation の以下のマニュアルもご利用ください。

『Oracle7 Enterprise Backup Utility Installation and Configuration Guide』

『Oracle7 Enterprise Backup Utility Administrator Guide』

『Oracle7 Server Administrator's Guide』

『Oracle8 Server Backup and Recovery Guide』

『Oracle8 Server Administrator's Guide』

- ◆ 『NetBackup for Oracle on Windows NT System Administrator's Guide』

NetBackup for Microsoft Oracle のインストール、設定、使用方法が説明されています。NetBackup for Microsoft Oracle を使用すると、Windows NT/2000 NetBackup クライアントにある Oracle データベースのバックアップとリストアを実行できます。

この製品については、Oracle Corporation の以下のマニュアルもご利用ください。

  - 『Oracle7 Enterprise Backup Utility Installation and Configuration Guide』
  - 『Oracle7 Enterprise Backup Utility Administrator's Guide』
  - 『Oracle7 Server Administrator's Guide』
  - 『Oracle8 Server Backup and Recovery Guide』
  - 『Oracle8 Server Administrator's Guide』
- ◆ 『NetBackup for Oracle - Advanced BLI Extension System Administrator's Guide』

NetBackup for Oracle Advanced BLI Agent のインストール、設定、使用方法が説明されています。NetBackup for Oracle Advanced BLI Agent を使用すると、UNIX NetBackup クライアントにある Oracle データベースのバックアップとリストアを実行できます。

この製品については、Oracle Corporation の以下のマニュアルもご利用ください。

  - 『Oracle Enterprise Manager Administrator's Guide』
  - 『Oracle8 Server Backup and Recovery Guide』

この製品については、VERITAS Software の以下のマニュアルもご利用ください。

  - 『Database Edition for Oracle Administrator's Guide』
  - 『Storage Edition for Oracle Administrator's Guide』
  - 『NetBackup for Oracle - Advanced BLI Agent for Backups without RMAN System Administrator's Guide』
- ◆ 『NetBackup for Oracle - Advanced BLI Agent for Backups without RMAN System Administrator's Guide』

NetBackup for Oracle Advanced BLI Agent for Backups Without RMAN を検証する方法が説明されています。

この製品については、Oracle Corporation の以下のマニュアルもご利用ください。

  - 『Oracle Enterprise Manager Administrator's Guide』
  - 『Oracle8 Server Backup and Recovery Guide』

この製品については、VERITAS Software の以下のマニュアルもご利用ください。

  - 『Database Edition for Oracle Administrator's Guide』
  - 『Storage Edition for Oracle Administrator's Guide』
  - 『NetBackup for Oracle - Advanced BLI Extension System Administrator's Guide』

## システム管理者ガイド - エージェントとオプション

---

- ◆ 『NetBackup Plus Module for TME 10 System Administrator's Guide』

NetBackup / Plus Module for TME 10 のインストール、設定、使用方法が説明されています。NetBackup / Plus Module for TME 10 では、標準の NetBackup 管理者用インタフェースではなく、Tivoli Management Environment TM (TME) を使用して NetBackup を管理します。
- ◆ 『NetBackup for SAP on UNIX System Administrator's Guide』

UNIX で NetBackup for SAP のインストール、設定、使用方法が説明されています。この製品については、Oracle Corporation の以下のマニュアルもご利用ください。

『Oracle Enterprise Backup Utility Installation and Configuration Guide』

『BC SAP Database Administration : Oracle』

SAP AG の以下のリソースもご利用ください。

『BC-BRI BACKINT Interface R/3 System, Release 3.0』
- ◆ 『NetBackup for SAP on Windows NT System Administrator's Guide』

Windows NT/2000 で NetBackup for SAP のインストール、設定、使用方法が説明されています。この製品については、Oracle Corporation の以下のマニュアルもご利用ください。

『Oracle Enterprise Backup Utility Installation and Configuration Guide』

『BC SAP Database Administration : Oracle』

SAP AG の以下のリソースもご利用ください。

『BC-BRI BACKINT Interface R/3 System, Release 3.0』
- ◆ 『NetBackup for SYBASE System Administrator's Guide』

NetBackup for SYBASE のインストール、設定、使用方法が説明されています。NetBackup for SYBASE を使用すると、UNIX NetBackup クライアントにある Sybase データベースのバックアップとリストアを実行できます。この製品については、SYBASE Incorporated の以下のマニュアルもご利用ください。

『SYBASE SQL Server Utility Programs for Unix』

『SYBASE SQL Server Administration Guide』

## ユーザー ガイド

- ◆ 『NetBackup User's Guide - Macintosh』

Macintosh クライアントの NetBackup を使用してバックアップ、アーカイブ、およびリストアを行う方法が説明されています。このガイドには、NetBackup クライアントソフトウェアの設定手順の一部も記載されています。
- ◆ 『NetBackup User's Guide - Microsoft Windows』

Windows 2000、Windows NT、Windows 95、または Windows 98 クライアントの NetBackup を使用してバックアップ、アーカイブ、およびリストアを行う方法が説明されています。このガイドには、NetBackup クライアントソフトウェアの設定手順の一部も記載されています。
- ◆ 『NetBackup User's Guide NonTarget Version - Novell NetWare』

Novell NetWare サーバの NetBackup NonTarget ソフトウェアを使用してバックアップとリストアを行う方法が説明されています。NonTarget バージョンの NetBackup には、Microsoft Windows のインタフェースが用意されています。このガイドには、NetBackup クライアントソフトウェアの設定手順の一部も記載されています。
- ◆ 『NetBackup User's Guide Target Version - Novell NetWare』

Novell NetWare サーバの NetBackup Target ソフトウェアを使用してバックアップとリストアを行う方法が説明されています。Target バージョンの NetBackup には、DOS で実行するメニュー形式のインタフェースが用意されています。このガイドには、NetBackup クライアントソフトウェアの設定手順の一部も記載されています。
- ◆ 『NetBackup BusinessServer User's Guide - OS/2 Warp』

IBM OS/2 Warp クライアントの NetBackup を使用してバックアップとリストアを行う方法が説明されています。このガイドには、NetBackup クライアントソフトウェアの設定手順の一部も記載されています。
- ◆ 『NetBackup User's Guide - UNIX』

UNIX クライアントの NetBackup を使用してバックアップ、アーカイブ、およびリストアを行う方法が説明されています。

## デバイス設定ガイド - Media Manager

- ◆ 『NetBackup Media Manager Device Configuration Guide』

UNIX ホストで、NetBackup DataCenter と NetBackup BusinessServer の Media Manager によってサポートされているストレージ デバイスに対して、デバイス ドライバを追加するなどのシステム レベルの設定を行う方法が説明されています。

## トラブルシューティング ガイド

- ◆ 『NetBackup Troubleshooting Guide - Windows NT/2000』

Windows NT/2000 ベースの NetBackup 製品に関するトラブルシューティング情報が掲載されています。



## 索引

---

- A**  
AutoRunI.exe 10
- C**  
CR-ROM 用 Rockridge フォーマット 9
- M**  
Macintosh クライアント  
インストール 8
- N**  
NDS (NetWare Directory Services) ファイル 7  
NetBackup  
アップグレード 5  
インストール 3  
オプションのインストール 12  
再インストール 14  
NetBackup の再インストール 14  
NetWare NonTarget クライアント  
インストール 8
- O**  
OS/2 Warp クライアント  
インストール 8
- U**  
UNIX クライアント  
ローカル インストール 9
- W**  
Windows クライアント  
インストール 7
- あ**  
アンインストール  
NetBackup クライアント 14  
NetBackup サーバー 13
- い**  
インストール  
Macintosh クライアント 8  
NetBackup オプション 12  
NetWare NonTarget クライアント 8  
OS/2 Warp クライアント 8  
UNIX クライアント  
CD-ROM からローカルに 9  
Windows クライアント 7  
管理クライアント 10  
サーバー  
アップグレード 5  
手順 3  
要件 2  
再インストール手順 14  
インストール要件 2
- か**  
管理クライアント  
インストール 10  
起動 11  
リモート サーバーのサーバー リストへの追加 10
- く**  
クライアント  
アンインストール 14  
インストール (「インストール」を参照)
- さ**  
サーバー  
アップグレード 5  
インストール (「インストール」を参照) 3
- せ**  
設定

---

オペレーティング システムへのデバイ	オペレーティング システム 2
スの設定 2	
て	り
デバイスの設定	リモート管理 10